

Humans of Nishinoshima

こんにちは、島留学生の吉谷優花です。
すっかり秋めいてきましたね。秋は私の一番好きな季節です。島の葉っぱたちは紅葉するのでしょうか・・・？
西ノ島の人を特集する「Humans of Nishinoshima」このコーナーでは、島で暮らしている人の日常を深掘りし、島暮らしの様子をお届けしています。



Blog

記事の続きはこちらから。



Instagram

町の人の写真は
こちらから。

他の記事も連載中です。「西ノ島町公式note」で検索してみてください

西ノ島町公式note

偶然が重なり島にUターン

実は同じ保育園出身の大野さんと私。20年以上も前のことなので、お互い覚えていませんが、こうして偶然出会えたタイミングで、島のことから将来のビジョンまでお話ししました。

「偶然が重なり島に帰ってきました。大学3年生の時、周りが就職活動をする中、したくなかったんですよね。人混みも苦手だし、情報はWEBですぐに出てくる時代なので。」そう思いながらも、横浜のあるイベントに参加した大野さん。社会人の方が仕事についてプレゼンをする中、まだ学生だった大野さんは地元である隠岐について話しました。「君は隠岐の話ならイキイキと話すね。」と周りに言われ、自分はやっぱり「隠岐が好き」ということを再認識したそう。

島にUターンし、今年で5年目になる大野さん。次のチャレンジは自分のことを誰も知らない土地で「よそのもの」という発見をすること。島は、「帰ってきたのんちゃん」という自分でいられる場所。二つの発見をすることで隠岐にいてもいなくても、新しい価値観で隠岐を見ることができ、今後島にも増えていくであろう移住者の方とも関わりやすくなると思うと話します。リモートワークが新しい仕事のスタイルになってきた今、二拠点生活やワーケーションという形も増え、これから島には新しいライフスタイルの移住者が増えていくかもしれません。そんな時代を見据えている、大野さん。私も同世代として刺激を受け、価値観を見直すいい時間となりました。



大野希 (おおのぞみ) さん 西ノ島町出身
大学卒業後島にUターンし「ございな」にて勤務
島のお気に入りスポットは耳浦までの散歩道
車よりも徒歩か自転車が好き

島の魅力を詰め込んだお店

大野さんに続き、礼子さんの娘さんと私もシオン保育園で同級生だったという偶然が(笑)。なんだか不思議な感覚です。

「西ノ島産の梅ジュースです、飲んでみてね。」お店について早々、氷で冷えた美味しい梅ジュースを出して下さいました。酸っぱさがほてった身体に染み渡ります。「以前は、いわゆる山陰地方のお土産が中心に並べられていて、観光客の方がまた本土へ持って帰るといって・・・せっかく島に来て下さっているんだから、地元のものを楽しんでほしいと思って。」観光客のためにも、地元のためにも、島でできたものを積極的に置くようにしているんだとか。店内には、地元のお菓子を始めとし、ジャム、蜂蜜、貝殻や雑貨まで置いてあり、見てるだけで目移りするような空間です。

そんな礼子さんの島生活で好きなのところは、ここ隠岐で大切な人の居場所を作り続けられるところ。「仲の良い友達とか家族とか島外にいる人も多いけれど。そんな人たちがいつ隠岐に帰っても『隠岐ってやっぱりいいな』と思えるように、こちらで根を張って構えていられるというか、いつでもゆったりと待ち続けられるというか、その感覚は好きですね。」

柔らかく優しい口調でお話しされ、「穏やか」という表現がぴったりの礼子さん。今日もお店にはゆったりと心地良い空気が流れています。



安藤礼子 (あんどうれいこ) さん 西ノ島出身
安藤本店店長 みかん・カレースープが好き
趣味は、BSで韓国の時代もののドラマを予約して見ること



このコーナーでは、まちのみなさんからの情報をご紹介します。今月は、「子どもみんなよう教室」と「西ノ島ドリームス」からの情報をご紹介します！



今年4月から

子どもみんなよう教室を開いています！

子どもたちに楽しく民謡に触れる場を作るため、今年4月から、コミュニティ図書館いかあ屋で「子どもみんなよう教室」を開いています。

活動の目的は…

- ♪ みんなで楽しく踊ろう！
- ♪ ふるさとの民謡（踊り）を知り、みんなに伝えよう！
- ♪ 踊りの輪を人の和に！町を元気にしよう！

現在、月に一度開催している教室には、4～5名の子どもたちが参加しており、9月3日に開催された帝祭では、「西ノ島みんなようサークル」として、じょんじょん太鼓に合わせた国賀どんと節踊りや、しげさ節での銭太鼓を披露しました。



▲ 帝祭での踊りの披露の様子



次回は、10月22(土)
いかあ屋フェスで
踊りを披露する
予定です！

「子どもみんなよう教室」は、どなたでも参加できます。体験での参加もできますので、参加を希望される方は、下記までご連絡ください。

代表：矢野 純子 (☎08514-6-9022)



西ノ島ドリームス

島外での大会に初めて出場！

9月10日（土）、J Aカップ第39回島根県学童軟式野球選手権大会の松江・隠岐地区予選が松江市で開催され、西ノ島ドリームスが出場しましたが、力及ばず松江市の湖北ファルコンズに1回戦で敗れる結果となりました。

今年度から全日本軟式野球連盟に加入した西ノ島ドリームスは、今大会が初めての隠岐地区以外での公式戦。毎週土日の練習に加え、平日2回の練習に励みました。大会後、監督の山根大介さんは「大差での敗戦でしたが、今後につながる大きなステップとなりました。このような経験を積み重ね、選手たちがますます力をつけて伸び伸びと野球を楽しめるよう、指導者一同尽力していきたい」と大会を振り返り、キャプテンの井上志瑳くん（小5）は「初めての本土での大会でとても緊張し、なかなか自分の力を出し切ることができず悔しかったですが、最後の回に4点取れて良かったです。11月にも大会があるので勝てるように頑張りたいです。」と感想を述べました。



▲①バッターボックスに立つ井上志瑳くん
②初めてマウンドに立つ新澤陽斗くん ③次の塁を狙う杉山大河くん

1回戦結果

チーム	1	2	3	合計
湖北ファルコンズ	12	5	10	27
西ノ島ドリームス	0	0	4	4

3回コールド

当コーナーでは今回ご紹介したような情報や、「〇〇に挑戦しています！」「うちの〇〇すごいでしょ！」など、周りの皆さんにぜひ紹介したい！という情報を大募集中です。自薦他薦は問いません。なお、すべてが掲載できるわけではございませんが、出来るだけたくさんの方の情報を掲載できるようにしたいと思っております。わがところ情報のご提供は下記までお願いします。

■西ノ島町役場 企画財政課 企画広報係 TEL:08514-6-0105 FAX:08514-6-0683

